



N C A N e w s

長崎県キャンプ協会HP <http://nagasaki.camping.or.jp/>
メールアドレス nagasaki@camping.or.jp

新しい仲間が増えました！！ ～ 第16期キャンピングインストラクター養成講習会～

6月13日～15日、西彼青年の家にて第16期キャンピングインストラクター養成講習会を開催しました。キャンプの特性や指導・安全管理といった理論から、ロープワークやテント設営、野外炊さんといった実技までを2泊3日の日程で学び、7名の受講生全員、最後の試験に合格！！今年度も新しい仲間が増えました。今後の活躍を期待すると同時に、会員相互の交流を深めていければと思っています。



BUC「空中回廊作り」を行いました。

6月20日～21日、西彼青年の家にてBUC「空中回廊作り」を実施、16名の会員が参加しました。1日目は晴天に恵まれましたが、翌日はあいにくの雨模様。それでも一般参加者の方々と一緒に、空中回廊作りを楽しみました。2日目お昼のお好み焼き作りでは料理の腕前を披露していた会員も...？



なお、今年度2回目のBUCを12月27日（日）に西彼青年の家にて実施予定です。前日には長崎県キャンプ協会の忘年会も予定しています。詳細はINFOMATIONのコーナーをご覧ください。

BUC「ディレクターミーティング」参加報告

6月27日(土)～28日(日)、佐賀県の黒髪少年自然の家で開催された『日本キャンプ協会九州ブロック・ディレクターミーティング』に参加してきました。

2日目“キャンプにおける組織のリスクマネジメント”と題して、国立諫早青少年自然の家の所長・井上透氏の講習会を受講してきました。その中では、様々な角度からみる組織キャンプのリスク・コントロールを分かりやすく話されました。

講習会後半は、実際に発生した事故例をもとに、事故後の記者会見の演習をグループ毎に行ないました。シミュレーションではありましたが、本番さながらの記者会見が行なわれました。

キャンプにおけるリスクマネジメントの考え方は、参加者を守るだけでなく、我々指導者をも守る考え方にたっているのだなと改めて感じました。(報告者：村上 彰一)



「全国キャンプ大会in高知・むろと」参加報告

10月10日(土)～12日(月・祝)、高知県室戸市の国立室戸青少年自然の家にて第19回全国キャンプ大会in高知・むろとが開催され、長崎県キャンプ協会から5名が参加しました。期間中は晴天に恵まれ、とても有意義な3日間となりました。参加した会員からの参加報告です。

「全国キャンプ大会in高知・むろと」へ車で片道12時間かけて行ってきました。9日21時に諫早を出発、夜の高速道路をひたすら高知を目指し、サービスエリアごとに休憩しながらの往路でした。休日高速千円ならではの移動です。翌朝9時には高知に到着、早速桂浜を観光し珍しい石をGETしました。高知城へも行きましたが、改修工事中だったため早々に観光を済ませ、室戸へ。室戸青少年自然の家は「どこまで行くのか!？」と思えるほど、山の中にありました。CAMPING AWARD表彰の黒木先生が欠席だったのは残念でしたが、開会式後の分科会では第4分科会「長期にわたる自然体験活動」に参加し、先進県に学ぶことができました。ウェルカムパーティーでは九州の仲間と交流し、楽しいひとときを過ごしました。



2日目のフリーチョイスでは、午前中は室戸岬乱礁(室戸ジオパーク)散策に稲田理事長と参加、午後はオーシャンカヤックに寺尾さん、関さんとともに挑戦しました。泳げない私はドキドキでしたが、ウエットスーツに救命胴衣を着用しての体験で、満足のいく体験でした。長崎でも救命胴衣を着用した安全な冒険チャレンジができればいいのにと感じました。

3日目は各ブロックのワークショップ体験と九州ブロックの箸作りのお手伝いを楽しみました。高知県のカツオのタタキ実演に間に合わなかったのが心残りです。ガソリン代や途中の食事代を含め、1人1万円をきる、節約全国大会でした。(報告者：松田 富三郎)



とても有意義な3日間でした。他県の方達と1年ぶりに再会、とても話がはずみ昔から知っている人のようでした。昨年の御礼も数名の方からいただきました。前はスタッフだったので無我夢中で過ごしましたが、今回は参加者として、とても楽しく時間が経つのを忘れるほどでした。

2日目のフリーチョイスではこの歳にして初めて、シュノーケリングを体験しました。マスクを付け呼吸の仕方を習い、恐る恐る海の中へ... 数十年ぶりに海に入りました。水中の魚の美しいことと云ったら、まるでテレビの画面を見ているようでした。動いているサンゴを目の前にし、ビックリ！夢を見ているような景色です。午後のオーシャンカヤックもまっすぐ漕げなかったけれど、とても楽しく、いつまでも乗っていたいような、どこまでも行きたいような気分になりました。夜の交流会では「よさこい鳴子踊り」を踊りましたが、なんとかついていけたかな？

ポリバンドで作ったトンボを持って行くと「作り方を教えて」と数名の方から頼まれ、昨年に続き講習会をしました。覚えることは難しかったようなので、後日作り方を送ることにしました。昨年教えた人からは子どもたちに指導したとの話を聞き、全国にトンボが飛んでいき、少しでもエコに参加できたらいいなと思いました。まだまだ知らないことが沢山！これからもいろんな出会いを大事にしたいと思います。（報告者：関 君子）



今回の全国大会、基調講演の後に行われた分科会では「長期にわたる自然体験活動」に参加。自分が考えていた問題点と一致した。様々なプログラムのリスク、学校が求めるねらい・サポートできる範囲と内容等を様々な立場から討議され、自分自身大変参考になった。全国のキャンプ指導者が集まれば...すごい。なるほど！と頷くことばかりで、本当に自分自身に大きな力をもたらした。このような全国大会のスケジュールは初めてだったし、今後もこのような場は必要だと思った。



2日目のフリーチョイスでは、午前中シュノーケリング、午後はオーシャンカヤックに参加。天気は晴天、潮の流れや透明度など、絶好のコンディションでのチャレンジ。海の中の世界はサンゴや熱帯魚など、すぐ近くに様々な生物を見ることができた。特に、めったに見られないウツボやコブダイも見ることができた。もう少し深く潜ろう！と思ったが、全く潜れない！なぜ？... ライフジャケットを着ていたのを忘れていた。それぐらい夢中になっていた。海に入る前の安全学習も含め、現地での活動体制や体験活動の進め方など、多くの情報を得ることができた。

3日目のワークショップでは今後の活動に取り入れられるようなコーナーばかりだった。特に、カツオのタタキ実演はよかった。あっという間の3日間、行かないと体感できないことばかり。そしてキャンプ指導者としての原点にリセットしてくれる場であることは確かである。だからこそ、全国の仲間を通して、自分を見つめ直すことにつながるのではないだろうか。そしてそれが、県キャンプ協会の発展につながるのではないかと思った。来年は岐阜大会、是非参加したいと思う。（報告者：寺尾やす子）



INFORMATION

・長崎県キャンプ協会より

BUC「迎えよう！手作りお正月」及び忘年会を開催します。

12月27日(日)に西彼青年の家にてBrush up & Communication事業「迎えよう！手作りお正月」を開催します。自身のスキルアップや会員相互の交流の場として、皆様の参加を心よりお待ちしております。また、前日(26日)には長崎県キャンプ協会忘年会も開催します。参加を希望される方は事務局(TEL&FAX:095-849-5111、e-mail:nagasaki@camping.or.jp)までご連絡下さい。多くの会員のご参加をお待ちしております！！



要項を同封しております。詳細はそちらをご覧ください。

・日本キャンプ協会および他県支部協会より

「キャンプディレクター2級(PD)講習会」「自然体験活動指導者養成講習会」を開催します。

来年1月9日(土)～11日(月・祝)に宮崎県の青島少年自然の家にて「キャンプディレクター2級(PD)講習会」と「自然体験活動指導者養成講習会」が同時開催されます。この講習会に参加されると、キャンプディレクター2級(PD)と文部科学省が進める、小学校で長期(1週間程度)の自然体験活動を支援する指導者の資格が同時に取得できます。1度に2つの資格を取得するいい機会です。ぜひ、受講してみませんか？受講を希望される方は事務局にご連絡いただくか、日本キャンプ協会のHPから要項をダウンロードしてください。

キャンプディレクター2級(PD)講習会にはBUCへの参加等、受講条件があります。

交通手段につきましては、長崎県からのメンバーがいますので乗り合わせて行くことも可能です。まずは事務局にご相談ください。



「福岡県キャンプ協会設立20周年記念講演会」を開催します。(BUC事業)

11月29日(日)午前10時より福岡国際ホール(福岡市)にて、福岡県キャンプ協会設立20周年記念講演会が開かれます。第1部の講演会では日本キャンプ協会名誉会長である酒井哲雄氏が「新しいキャンプ文化の創造をめざして」という演題で、また、冒険家でありNPO法人エコプラスの代表理事である高野孝子氏が「自然との共生、未来のために」という演題で講演されます。参加費は1,000円で、講演会にはどなたでも参加できます。詳細につきましてはhttp://www.camping.or.jp/fukuoka_20th.pdfをご覧ください。(主催:福岡県キャンプ協会)

編集後記

先日、長崎バイサイドマラソン&ウオークに参加して15キロの坂本龍馬コースを歩いてきました。長崎に住んで9年になりますが、まだ行ったことのある場所がたくさんあること!!長崎の魅力や再認識できたと同時に、もっとこの町のことを知りたいなぁと思いました。「自分の地域や暮らしているところから、自分を知る一歩が見つかるはず」3年前に参加した青年ミーティングで高野孝子さんがおっしゃっていたことを思い出しました。自分の住んでいる場所を知ることが、活動の幅や可能性を広げることにつながるのかな?と若輩者ながらに思いました。とても有意義で楽しい1日になりました。(松)

発行:長崎県キャンプ協会

事務局:〒852-8113 長崎市上野町8-1-402

電話:095-849-5111

FAX:095-849-5111

発行日:平成21年11月